



イマジン
ロータリー

第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

会長 高 梨 哲 男
幹事 高 橋 智 弘

奉仕プロジェクト
委員会委員長 渡 辺 敬 藏

会報写真担当 梅 津 一 匡

令和4年9月5日(月) 第7回 通算第1635回例会

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第7回例会 点鐘12:30

◇開会点鐘 高 梨 哲 男 会長

◇ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 宮 崎 秀 剛 副会長



◇「四つのテスト」唱和

職業奉仕委員会 宮 崎 秀 剛 副委員長

◇お客様並びにビジター紹介

9月誕生祝い

※今年度、誕生祝いの記念品はワインです。

・高橋達也会員 昭和36年9月30日生

◇会長あいさつ 高 梨 哲 男 会長



先日の野球部の二本松R.Cとの試合、私もチョッと観戦いたしました。8対8の引分けでしたが、白熱した戦いで双方ともに楽しんだことと思います。その後の懇親会も盛り上がり親睦を深められて、皆様ご苦労様でした。怪我はありませんでしたか。

R.C.のメルクマールでありますイマジンロータリーは、現在はもちろん思考の最優先であることはわかりはありませんが、3年先、5年先を意識し、今年度のせまりくる課題をスムーズに身の丈に合った奉仕ができてこそ、満足度を得ることができるのです。

ところでDEIですが、ダイバーシティは、多様性と和訳しますが、年令、民族、人種、肌の色、能力、

宗教、性的志向、性同一性などに関わらず、あらゆる背景を持つ人の可能性を称え、奉仕を考えれば何事にもあてはまります。

イクイティは、公平、公正を前面に押し出し、我々の内なる禁欲性や差別主義に陥りがちな現状に目覚め、さらなる奉仕に邁進することです。

インクルージョンは、包摂や包括、解放性などに和訳されていますが、要は現状の全ての事柄を捉え、何が我々にとって満足度を高める活動かを模索することではないか。

不本意ながら会長を拝命して2か月が過ぎましたが、まだまだあと10か月もあります。観念論的なことばかりで恐縮ですが、あともう少し、こんな戯言のような私の言葉を我慢してください。

◇幹事報告 高 橋 智 弘 幹事

○例会変更のお知らせ

・9月6日(火)福島北R.C.の例会は理事会承認休会となっております。

○その他のお知らせ

・9月10日(土)県北第一分区・第二分区共催の新会員セミナーが開催されます。当クラブより高梨哲男会長、高橋智弘幹事、朝倉久仁男会員が出席されます。予定されておりました懇親会は中止となりました。

・9月11日(日)地区ロータリー財団クラブ活性化ワークショップがZoomにて開催されます。当クラブより佐藤卓立R財団委員長が出席されます。

・本日午後6時30分より峰亀にて9月理事会を開催いたします。理事役員の皆様はよろしくお願いたします。

・9月ロータリーレートは1ドル139円となっておりますのでお知らせいたします。

委員会報告

◇歴代分区代理ガバナー補佐会議報告 佐 藤 宗 弘 会員



なりました。

ここで驚きの話と面白い話をします。

驚きの話は刑務所の運動会です。工場対抗で、競技をするのですが応援合戦が、今まで見たことない位凄い熱の入った応援でした。

100m走では、ゴールでヘットスライディングを見たのも最初で最後だと思います。

囚人に、残業して貰うと残業食として、アンパンが出ます。

私は知らなかったのですが、囚人の工場長に、教えられました。皆さん楽しみにしているようで、アンパンが食べたくなると、残業をしたいとお願いされる時がありました。残業の次の日の笑顔が、素敵でした。

福島刑務所の話はまだまだつきませんが、また次の機会といたします。

福島刑務所の技官は、長くできない決まりがありまして1年半で終わりました。次が、女性9割の部署に配属されました。女性は、嫌いでないのですが、女性との仕事が嫌になりました。この部署では1年半頑張りましたが、3年半後退職いたしました。

電子会社退職後は、今の仕事をしております。ここで私の趣味の話にいたします。趣味は、釣りです。

今時期ですと船釣りでヒラメを釣りに行きます。8月31日に釣りに行って来ました。一番大きいサイズで87cmを釣りました。この日は、大漁でした。50～87cmのものを33匹釣りました。

87cmのヒラメよりも、もっと大きいやつを、釣りました。それは、自分の親指です。釣針を、付けたまま釣りをしてしまいました。福島市内帰って来てから、病院で釣針取ってもらいました。大変痛かったです。

冬は、ワカサギ釣りが楽しいです。釣りは好きですが、料理は全然できません。料理は家内にお任せです。私は、釣りと食べるのが得意です。

趣味と言っているのかわからないですけど、高校野球観戦です。保護者観戦で、息子の野球を応援していたのですが息子が卒業してからも時間あれば高校野球観戦に行っております。今年の夏の甲子園は、見応えがありました。

東北の高校野球の強さ感じました。仙台育英高校の東北初優勝には、あっぱれを上げたいです。

東京オリンピックではソフトボール福島開催開幕戦の指定席A席を予約して当選したまでは良かったのですが、コロナのせいで球場観戦ができませんでした。とても残念でした。

最後になりますが自分の名前のおり「強い志で頑張れば何でもできる」をモットーにしておりますのでこれからも色々チャレンジしながら頑張ってまいります。

福島西R.C.の皆様には今後ともお世話になります。改めてよろしく願いいたします。

簡単ですが、私のスピーチとさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

○株福島建設工業新聞社 代表取締役社長 朝倉 久仁男会員



こんにちは。福島建設工業新聞社の朝倉です。今日は「私の新人時代」をテーマにスピーチさせていただきます。

私の社会人生活は36年前、昭和61年に就職した建設業界の専門紙から始まりました。

専門紙と呼ばばかっこのいいが、いわゆる業界紙であります。当時は、業界紙＝ゴロツキ新聞というイメージが根強く残っていた時期でもありました。実際、県内にもそのような新聞、雑誌も数多くありました。弊社の元社長であった八島が福島西R.C.に入会したのも、業界紙のイメージを変えたいとの思いからだったと聞いています。「うちは業界紙ではない。専門紙の記者として、自覚を持って仕事に励んでくれ」と、言われたことを鮮明に覚えています。

その年の4月に入社、およそ3か月の研修期間を終えて配属されたのが「いわき支局」でした。新聞記者に憧れて入った職場ではありましたが、与えられた業務は想像していたのとは全く違っていました。腕に腕章をつけ、一眼レフカメラを肩からぶら下げ「スクープ記事をものにする」「夜討ち朝駆け」当たり前などと、かっこいい記者イメージだけを持っていた私に与えられた仕事は、知らない土地で、知らない会社への営業訪問でした。入社したてで建設業の話題も乏しい中、社長と話をし、記事になりそうな話題を探り出す、いわゆる「よいしょ記事＝提灯記事」ばかり書いていました。一般紙が新聞拡張につかっている洗剤やスポーツ観戦チケットなどの拡張商品の代わりが取材先の記事掲載。新聞の定期購読の拡張並びに広告獲得のための営業マンでした。弊社は昭和42年の会社創立で、創設から20年は経っていましたが、いわき地区では、まだ弊社の名前も知れ渡っていなかったため、訪問先では、女性事務員に怪しまれました。運よく社長さんにつないでもらっても購読や広告の話をする、急に冷たくなり、用事ができる。心が折れそうになる毎日で、そんな日は決まって一人で飲み屋を梯子していました。そんな中、同じ苦勞を味わった先輩たちには慰められ、要領の良い仕事の仕方を教えていただきました。得意先の方から、いわきに来たら「競馬」より「競輪」だと、競輪の面白さを教えていただいたのもこの頃です。

上司からの次の命令は、建設業者さんの会社名を覚えることでした。

建設業者数は、その時代の景気、不景気、公共投資額などに左右されます。私が入社した昭和61年の県内の建設業の許可業者数は約1万100社。因みに一番多かったのは、22年前の西暦2000年、平成12年の約1万2000社で、今年は約8,900社となっています。

当時の1万を超える会社の社名を「覚える」というのは、かなり大変でした。公共工事の入札や民間建築計画などの情報発信している弊紙は、社名で紙面が埋められています。土木や建築、水道に電気、塗装工事、地質調査に測量設計、建築設計、コンサルタントと、毎回平均して200から300、県内企業に加え県外企業まで含めると、多い時には500社以上の社名が掲載されます。業種が違うのに会社の名前は同じという場合も多く、読者からの問い合わせに、頭の中が混乱したことを覚えています。とりあえず、支局管内の主だった会社名と企業所在地は覚えようと必死でした。

社名についてお話させていただきたいと思います。創業者の仕事に対する思いや地域への感謝から、会社名に姓＝苗字を入れた会社が建設業に限らず多い。因みに苗字の「みょう」は、苗(なえ)の意味を持つことから、会社の成長を願って使われていることが多いようです。建設業界に限らず「苗字」を入れた会社は多いですが、建設業界で一番多く使われている苗字は何だとおもわれますか。

弊社で取材した企業データを分析すると今年4月現在、1番目はやっぱり「さとうさん」です。県内では175の会社の社名に使われています。

2番目は「わたなべさん」で140社、3番目が「すずきさん」121社、次いで「さいとうさん」81社、「たかはしさん」50社などと続きます。因みにあさくらは3社です。因みに一番多い会社名は「わたなべ建築」さんで18社あります。さとう建築さんは16社。

地名や地方名を入れた社名では、一番多いのが「ふくしま」で140社、次が「とうほく」97社、「いわき」62社、「あいづ」60社、郡山は26社しかありません。

元号では、昭和が一番多くて21社、平成8社、令和はまだ4年しか経っていないからなのか2社に止まっています。トリビアな話題で失礼いたしました。

いわきで1年半ほど記者として経験を積み会津支局へ。次に白河に行って、平成7年には、いわき支局に出戻り。15年に郡山、震災後の24年には、また会津支局に異動になって、3年間の单身生活経験

後、再度、郡山支社勤務。昨年入社して初めて福島、本社勤務となり現在に至っています。

辛く厳しく、でも楽しかった新人時代。優しく接してくれた訪問先の社長さんや奥さん、取材を受けてくれた多くの対象者、写真撮影に記事の書き方から広告の取り方など一から教えてくれた先輩方、それらすべてが自分の成長の糧になったーと感謝の気持ちでいっぱいです。

最後に福島西R.C.野球部に対して一言お礼並びに感謝を申し上げなければなりません。この夏の盆休み、大阪から帰省した息子、次男とおよそ20年振りに近所の公園で「キャッチボール」をすることができました。中高と野球を続けていた息子は、小学生の時はスポ少でソフトボールをやっていました。当時は、キャッチボールなど練習相手をしてあげていたのですが、中学生にもなると「練習手伝おうか」と声をかけても「お父さんじゃあ、無理」などと相手にされませんでした。

ところがこの夏、お盆休みで帰省した息子に「26日にR.C.で試合があるから練習付き合っ」と声をかけたら、喜んでキャッチボールの相手を務めてくれました。かなり暑い日が続いていましたが、上の息子、長男も参加して何と2日間、練習相手を務めてくれました。3人でのキャッチボールやノックなど久しぶり。2人から「お父さん、ふざけてんの。真面目にやったら」などと、親を親とも思わないような口の利き方をされて「お前たちも管理職になって、部下を持つようになると解ると思うが、けなしたり、叱るだけでは人は成長しない。褒められて人間は成長するもんだ」と、人生の先輩として一言言ってやりました。2人は笑っていましたが。

3人で遊んだのは本当に久しぶりでした。練習後にシャワーを浴び、3人で飲んだビールは、格別で、プレミアムな味がしました。ここ数年で最高の「夏の思い出」をつくることができました。改めてお礼を言います。ありがとうございました。

つたない文章で、申し訳ございませんでした。ご清聴ありがとうございました。

◇閉会点鐘

※会報カメラ担当

高梨哲男会長

梅津一匡会員

●他RC例会場・例会日

クラブ名	曜日	例会場名	クラブ名	曜日	例会場名
福島RC	木曜日	クーラクーリアンテサンパレス	飯坂RC	木曜日	吉川屋
福島南RC	水曜日	クーラクーリアンテサンパレス	福島北RC	火曜日	クーラクーリアンテサンパレス
福島中央RC	水曜日	クーラクーリアンテサンパレス	福島東RC	金曜日	クーラクーリアンテサンパレス
福島21RC	木曜日 18:30~	クーラクーリアンテサンパレス	福島しんたつRC	月曜日 18:30~	福島県青少年会館